

# 英語科学習指導案

日時 平成28年9月9日(金) 1校時  
会場 3年2組教室  
学級 3年2組(男15名女16名計31名)  
授業者 大森弘恵(T1) 前川信悟(T2)

## 1 単元名 PROGRAM 6 Let's Talk about Japanese Things. (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

### 2 単元について

#### (1) 生徒観

生徒たちはこれまでの学習で、英語を用いて話したり、書いたりする際、独自の発想をもとに表現する楽しさや、仲間の表現から新たな気付きを得て学ぶ楽しさを感じとっている生徒が多い。しかし、英語の学習への興味をもてず、意欲的に学習に取り組めない生徒もおり、上位層と下位層の差が開いてきている。英語で表現することの目的を明確にし、表現し合うことの楽しさを感じさせながら学習に取り組ませ、英語活用への関心意欲を高めさせたい。また、県学習定着度状況調査における本校の全体正答率は55.6%である。特に、「自分が行ったところと、したことについて」(37.8%)、「気持ちや感想についての英作文」(23.3%)と書くことについての課題が見られた。まとまった英文を書く力が十分に身に付いていないことから、書く活動を十分に保障しながら、書く活動を繰り返し行い、定着を図りたい。

#### (2) 教材観

本単元は、マイクが日本のマンガの原点と言われる「鳥獣戯画」について調べ報告し、由紀が日本の伝統的なおもちゃについての歴史や遊び方を紹介する内容となっている。また、武史が由紀を誘って、マイクをお祭りに案内する場面から、そこで見かけるものを叙述し、日本独自のものを表現する内容へと発展する形で構成されている。

本文では、Look at ~. Have you seen ~? I think ~. It's a kind of ~. It's a ~ called ...など絵や物などを紹介する表現が多く用いられている。従って、日本文化特有のものや、日本のおみやげなどを紹介する時に必要な表現やその使い方を教科書を通して学び、実際に英語で紹介できる力を養うことができる教材である。また、新出の言語材料は、現在分詞・過去分詞の後置修飾である。既習の言語材料で表現できることであっても、「分詞の後置修飾」を用いることで、説明を後からつけ加えることができ、1つの文でより詳しい情報を伝えることが可能となる。

言語活動においては日本文化特有のものや日本のおみやげについて、どのように表現すれば的確に理解してもらえるのかを意識させていきたい。さらに、日本文化の発信についても、目的を明確にし、生徒に興味・関心を高くもたせて活動に取り組ませたい。

#### (3) 指導観

単元の最終ゴールは、外国人の先生にお勧めしたい日本のお土産についての紹介文を書くことである。単元の導入時には、単元のゴールを示し、それに向けての学習の進め方について確認をする。単元の学習においては、自分のお気に入りのものを紹介することで表現の習熟を図り、外国人の先生にお勧めしたいお土産について書くことを意識させながら、学習を進めさせたい。また、教科書本文の内容理解では、日本文化特有のものを紹介する際の、表現方法や工夫についても注目させ、活用できる表現を抜き出しながら、自己表現につなげさせたい。さらに、紹介文の中で、分詞の後置修飾を用いることで表現の幅が広がることにも気付かせ、活用することで文構造の理解にもつなげていきたいと考える。

本単元では本校のCAN-DOリストの3年で、「書くこと」における「日本の伝統文化について説明文を書くことができる」ことを目指している。次の単元であるMy Project8「日本文化を紹介しよう」では、PROGRAM5、PROGRAM6で学習した表現を用いて、自分が住む地域の伝統行事や祭りな

どについて紹介する活動を行う。次の単元で生徒が伝統文化を自分の言葉で紹介することができるよう、本単元を指導していく。

なお、英語科は TT の活用方法を次の①～④のようにとらえている。

- ① 役割分担（主副交代）
- ② モデル提示
- ③ 個別評価
- ④ 個別支援

これらを学習場面に応じて選択し、指導に活かしたいと考えている。

#### (4) 研究との関わり

##### ○主体的な学び

生徒が学習に意欲的に取り組めるように、それぞれの学習段階では日本の文化にとどまらない題材の選択をし、「分詞の後置修飾」に慣れ親しむことができるように努めさせたい。表現のテーマには話す側も聞く側も興味をもって取り組めるような工夫をしていきたいと考える。具体的には、「自分のお気に入りのもの」や、「ALTの先生に紹介したい日本のおみやげ」などの自分が伝えたいことを、相手を意識し、英語を手段として活用し表現できるように、見通しをもった取り組みをさせていきたい。

##### ○協働的な学び

ペア、グループ、一斉学習での他者との関わりの中で、様々な考えや感じ方、表現に気づき、それを受けとめつつ、自分自身の表現の参考にしたり、気付いたことを活かしたりするような学習にさせていきたい。また、他者の表現から学ぶに留まらず、お互いを高め合うためのアドバイスによって、学びを深めさせたい。

##### ○振り返りについて

振り返りカードの記入で、本時の学習課題に対する振り返りを各自行う。また、全体での振り返りの交流を行い、1時間の学習で学んだことや、気付いたことについての考えを共有し、次時の課題への意識づけを図りたい。

### 3 単元の目標

(1) 外国人に紹介したい日本のおみやげについての紹介文を書くことができる。【外国語表現の能力】

(2) ペアワークにおいて、間違えることを恐れずに話すことができる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(3) 現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解することができる。

【言語や文化についての知識・理解】

### 4 指導と評価の計画（全6時間）

時間	学習活動	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	・現在分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解する。				・現在分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。
2	・過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解する。				・過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。
3	・「鳥獣戯画」についての報告文と「けん玉」についての紹介を読む。 ・本文から紹介文で活用できる表現を				・過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。

	探す。				
4 (本時)	・本文を活用して自分のお気に入りのものを紹介する。	・間違うことを恐れずに話そうとしている。	・自分のお気に入りのものについて相手によく伝わるように工夫して紹介することができる。		
5	・お祭りや日本のものを表す絵を見て、表されている人やものの説明をする。				・現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。
6	・外国人の先生に紹介したい日本のおみやげについて英作文を書く。	・辞書を活用するなどして書こうとしている。	・外国人の先生におすすめしたい日本のおみやげについて、魅力が相手に伝わるように書くことができる。		

## 5 本時について

### (1) 主題

自分のお気に入りのものの紹介

### (2) 学習目標

自分のお気に入りのものについて、友達によく伝わるよう工夫して紹介する。

### (3) 評価規準【評価方法】

評価の観点	評価規準	支援を要する生徒への手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・ペアワークにおいて、間違うことを恐れずに話そうとしている。 【観察】	・表現したいものやことについて、個別に確認し、どのように表現すればいいか具体的に助言した上で、話すことに取り組むように指導する。
外国語表現の能力	・自分のお気に入りのものについて、相手によく伝わるように工夫して表現している。 【観察・ノート】	・表現したいものについて、個別に確認し、どのように表現すればいいか具体的に助言する。 ・教科書で学習した表現を参考にするよう助言する。

### (4) 指導の構想

本時は、既習の表現や教科書本文を活用して、自分のお気に入りのものを紹介する。前時までの学習では分詞の後置修飾について学んでいるが、単元の目標である第6時間目のおみやげの紹介文につながる活動として、分詞の後置修飾の活用にこだわらず、既習の表現や本文を活用して紹介させたい。

「課題・見通し」の場面では、本時の課題を確認するとともに、課題解決に向けての授業の流れとゴールを提示することで、見通しをもって学習に臨ませたい。

「自力解決・探究」の場面では、既習事項や本文の紹介文を活用して表現につなげさせていきたい。ペア学習を段階的に取り入れ、相手への伝わりやすさを確かめながら、表現を改善させ、交流につなげさせたい。

「協働・深化」の場面では、様々な表現に触れられるよう、ペアでの交流を取り入れる。考えた英文が相手に伝わる喜びを感じ、新たな表現を知ること、表現の幅を広げさせたい。また、より良い紹介にするためにどうすればよいのかをアドバイスし合い、学びを深めさせたい。

「学習整理」では、口頭での振り返りを行い、ものを紹介する場面でどのような工夫ができるか発表し合うことで、自分が気付かなかった視点にも気付かせたい。また、本時での学習が、次時以降の言語活動にも活かされることを共有し、今後の言語活動につなげていきたい。

(5) 展開

学習過程	学習活動	学習内容 ・予想される生徒の反応	■指導上の工夫・支援 ●評価 ◇振り返りの場面・活用
課題・見通し 8分	1 帯学習を行う	○すらすら英単語 ○分詞の後置修飾の表現を用いた QA	■支援を必要とする生徒への声掛け ■分詞の後置修飾を想起させる。 ◇前時までの学習内容 ■授業の流れを示す
	2 課題を把握する	自分のお気に入りのものを友達によく伝えるように工夫して紹介しよう	
	3 見通しをもつ	○紹介する際に活用できる表現, 使ってみたい表現 ・ Have you seen ~? ・ I think ~. ・ It's a kind of ~. ・ It's a ~ called...	
自力解決・探究 20分	4 お気に入りのものを紹介する文を考える	○本文を参考にし, 3文以上で表現	■机間指導 ■参考になる表現にアンダーラインを引かせる。
	5 ペアで紹介文の推敲をする	○英文を聞いて, 相手が紹介したいものを推測 ○相手の紹介の, 良い点, 改善点についてのアドバイス ・ ~があったので分かりやすかった。 ・ ~の説明が足りなくて分かりづらかった。 ・ ~の表現はこうした方がいい。	■ペアがいない生徒のサポート ■気づいたことを吹き出しにメモさせる。
協働・深化 12分	6 お気に入りのものを紹介し合う	○お気に入りのものの紹介 ○相手を変えての発表の繰り返し ○互いの発表の良さの気付き	■机間指導 ●自分のお気に入りのものについて工夫して話している。 「工夫している生徒の姿」 ・ 実演している。 ・ 他の物と比較して説明している。
	7 紹介文をノートにまとめる	○紹介した文を, ノートに記入	●間違ふことを恐れずに紹介している。 ■ペアがいない生徒のサポート ■机間指導
学習整理 10分	8 学習のまとめをする	○分かりやすく説明するための工夫についてのまとめ ・ 問いかけがある。 ・ 実演している。 ・ 別のものと比較して考えを述べる。	
	9 本時の学習を振り返る	○学習の振り返り	◇本時の学習が次時の学習や My project8 の学習にもつながることを意識させる。

## (6) 板書計画

Program6		Sunny , Friday September 9	
自分のお気に入りものを友達によく伝えるように工夫して紹介しよう			
1 Surasura 2 QA 3 Thinking 4 Talking 5 Writing 6 Sharing	活用できる表現 ・ Have you seen ~? ・ I think ~. ・ It's a kind of ~. ・ It's a ~ called ...	紹介の工夫 ・ 問いかけ ・ 実演 ・ 比較 ・ 自分の考え	

## (7) 「学びのリフレクション」の視点

- 1, PROGRAM6 のこれまでの学習を通して、気づいたこと、感じたことは何ですか。
- 2, これからの学習に生かしたいことやさらに学びたいと思ったことなどあれば発表してください。